

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すてっぴあ久2		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動プログラムを利用者に合わせて決定している。	活動プログラムはグループ分けを行い、個人個人にあった人数、レベル感で療育を行っている。固定化しないように毎月話し合う機会を設けている。	利用者の多様性に対応できるように、研修等で職員スキルを伸ばしていく。療育内容が固定化しないように様々なツールを検討し、取り入れていく。
2	寄り添った支援を行う為、職員間の意識の統一を行っている。	職員間で意思が統一できるように日々の朝礼や終礼で活動の内容共有、相談、振り返りを行っている。定例会議だけではなく、必要に応じて臨時の話し合いを行い、問題解決に取り組んでいる。	今後も利用者に寄り添いながら支援を行う為に、意思疎通が出来る環境づくりを行う。ボトムダウンではなく、ボトムアップを基本とした組織作りを行う。
3	夏休みなどの長期休みや祝日等に工場見学などの地域資源を積極的に活用している。	伝統工芸品にふれたり工場見学を行う等、普段の生活では体験できないことを体験するため、長期休み期間等に地域資源を積極的に利用している。	期間限定のイベントに参加する等、体験先が固定化しないように情報を集め検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場の提供。	日時、会場の設定、駐車場問題等、解決しないといけない課題が多い。	参観日と合わせて実施する等、参加しやすい日程を検討する。年間行事に位置付け、早目の計画を行う。
2	地域の子供達との交流。	定期的に地域の公園や博物館等の地域資源を利用しているが、地域の子供達との積極的な交流は行っていない。	地域のイベント等があった際は積極的に参加する。地域資源を利用し、地域の子供達との交流があった際は情報を発信する。
3	ペアレントトレーニング等の研修や地域イベントの情報共有。	研修やイベント等に関しては受動的な情報提供にとどまっている。	県や那覇市から案内のあった保護者も参加できるイベントや研修はLINE等を利用して積極的に情報提供していく。